

第6回県政インターネットモニターアンケート集計結果
循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合（％）は、端数処理の関係上（小数第二位を四捨五入）、合計が100%にならない場合がある。

○ 循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

大量生産、大量消費、大量廃棄による経済社会活動は、天然資源の枯渇の懸念や自然破壊など様々な環境への影響を及ぼしてきました。従来型の経済社会活動や生活様式を見直し、資源の持続可能な利用を確保するとともに、環境保全と経済成長を両立する循環型社会を形成するためには、3Rの取組など一人ひとりの努力が必要です。

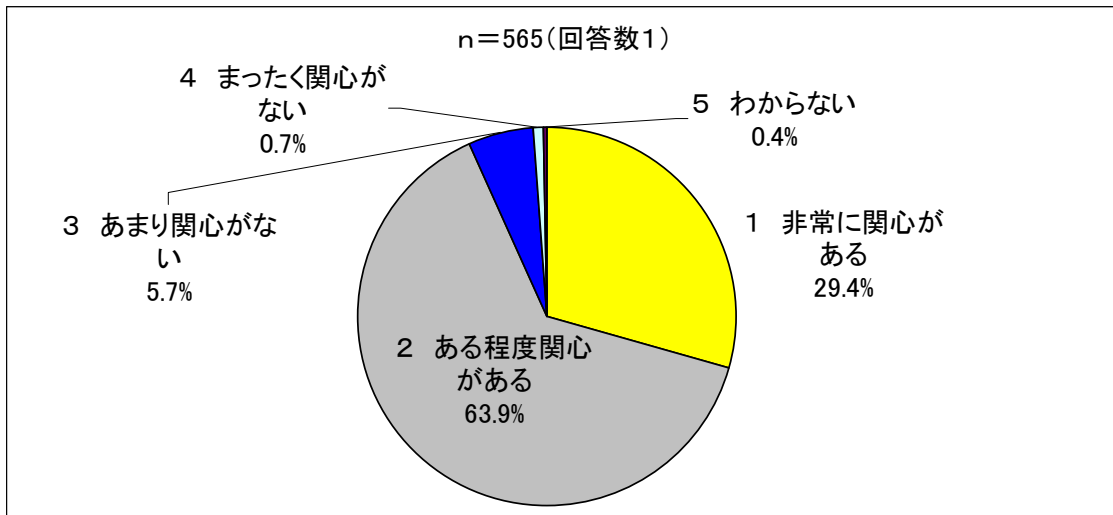
現在、第3次静岡県循環型社会形成計画に基づき、「あーす（明日・Earth）のために“もったいない!!”衣・食・住でごみ削減」をキャッチフレーズに、県民総参加による循環型社会の形成に向けた取組を展開しています。

今回、県民の皆様から率直なご意見を伺い、今後の循環型社会の形成に向けた施策の参考としたいと考えておりますので、御協力をお願いします。

回答者数： 565 人（回答率：92.8%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	267	47.3%
	女性	295	52.2%
	その他	3	0.5%
年代	10代	6	1.1%
	20代	24	4.2%
	30代	81	14.3%
	40代	128	22.7%
	50代	134	23.7%
	60代	95	16.8%
	70代	76	13.5%
	80代	21	3.7%
住所	90代	0	0.0%
	東部	170	30.1%
	中部	205	36.3%
	西部	189	33.5%
職業	県外	1	0.2%
	自営業	30	5.3%
	会社員	203	35.9%
	公務員	10	1.8%
	パート・内職従事者	94	16.6%
	学生	15	2.7%
	無職	187	33.1%
その他	26	4.6%	

○循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

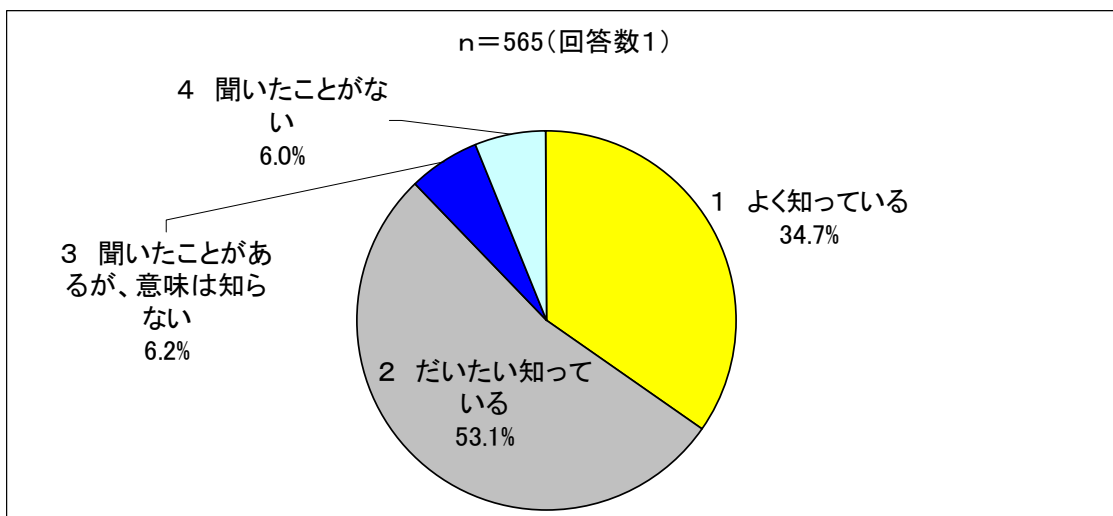
問1 あなたは、ごみ問題に関心がありますか。(回答数は1つ)



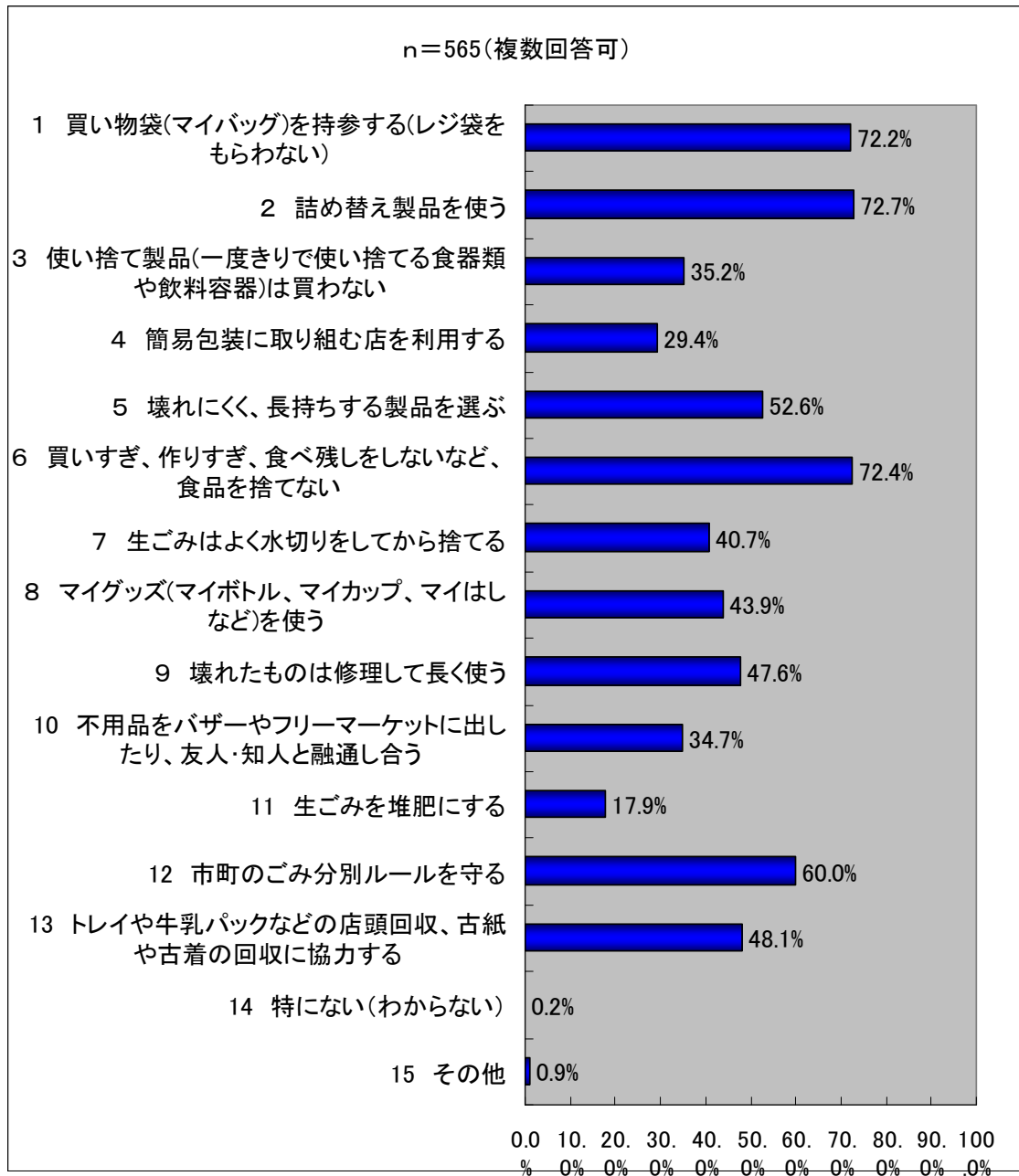
問2 あなたは、3R※の言葉の意味を知っていますか。(回答数は1つ)

※ 3R

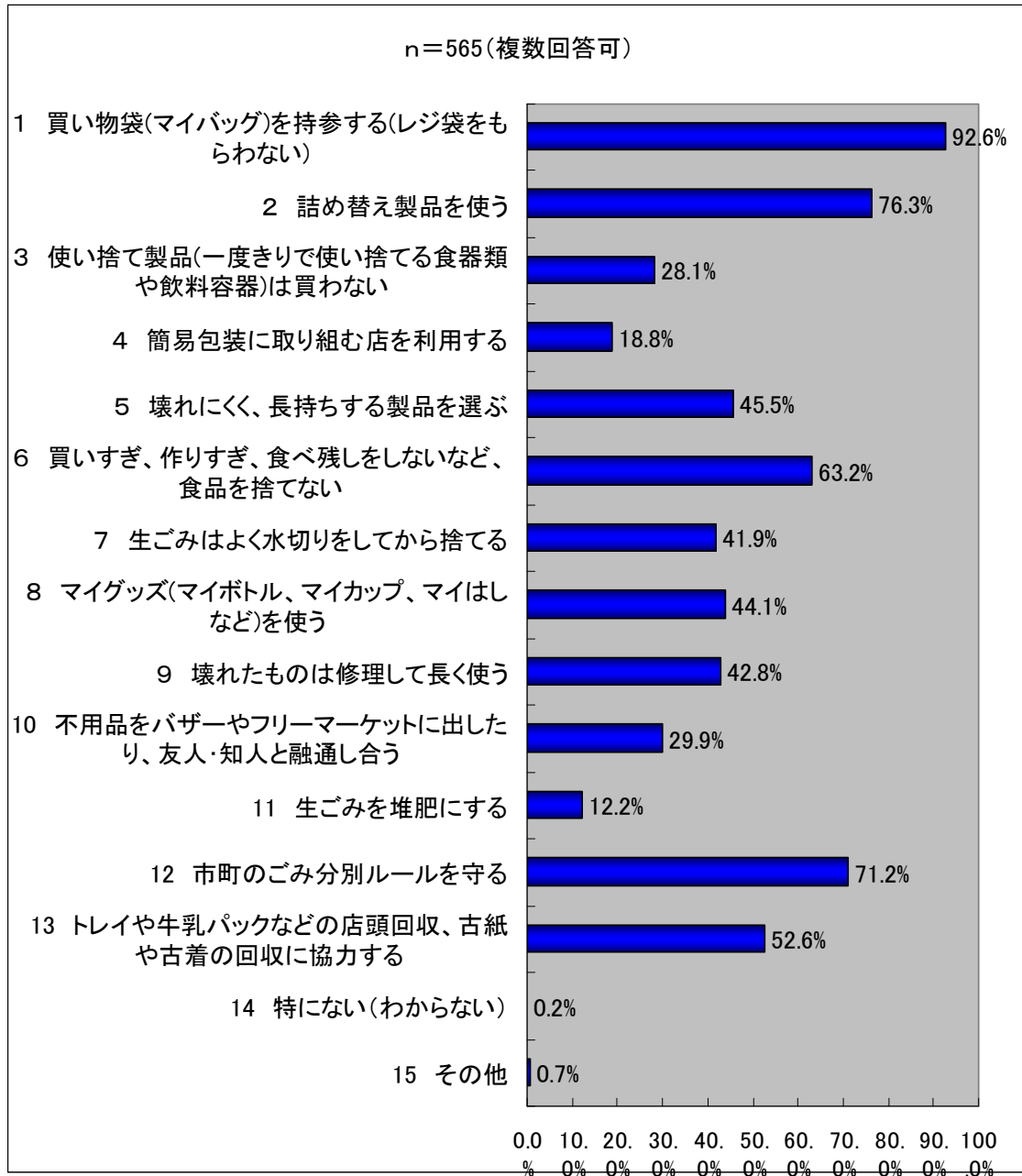
リデュース (Reduce : 発生抑制=ごみを出さない)、リユース (Reuse : 再利用=繰り返し使う)、リサイクル (Recycle : 再生利用=再び資源として利用する)の3つの頭文字「R」から生まれた言葉



問3 ごみを削減するための行動として、あなたが大切だと思うことを次の中から選んでください。(複数回答可)



問4 ごみを削減するために、あなたが実際に行っていることを次の中から選んでください。(複数回答可)



問5 近年、特に「海洋プラスチックごみ」※1が環境に及ぼす影響が問題と
なっています。あなたは、静岡県が令和元年5月から始めた県独自の「海
洋プラスチックごみ防止6R県民運動」※2を知っていますか。(回答数
は1つ)

※1 海洋プラスチックごみ

ポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込むプラス
チックごみのこと。世界では毎年 800 万トン以上のプラスチックがごみと
して海に流れ込んでおり、このままでは2050年には魚の量より多くなると
の予測もある。

紫外線や波により砕けて大きさが5mm以下となった微細なプラスチックは、
マイクロプラスチックと呼ばれ、生態系に及ぼす影響が懸念されている。

※2 海洋プラスチックごみ防止6R県民運動

県民一人ひとりが6Rを実践することで、プラスチックごみの発生抑制と
海洋への流出防止を目指す県民運動。

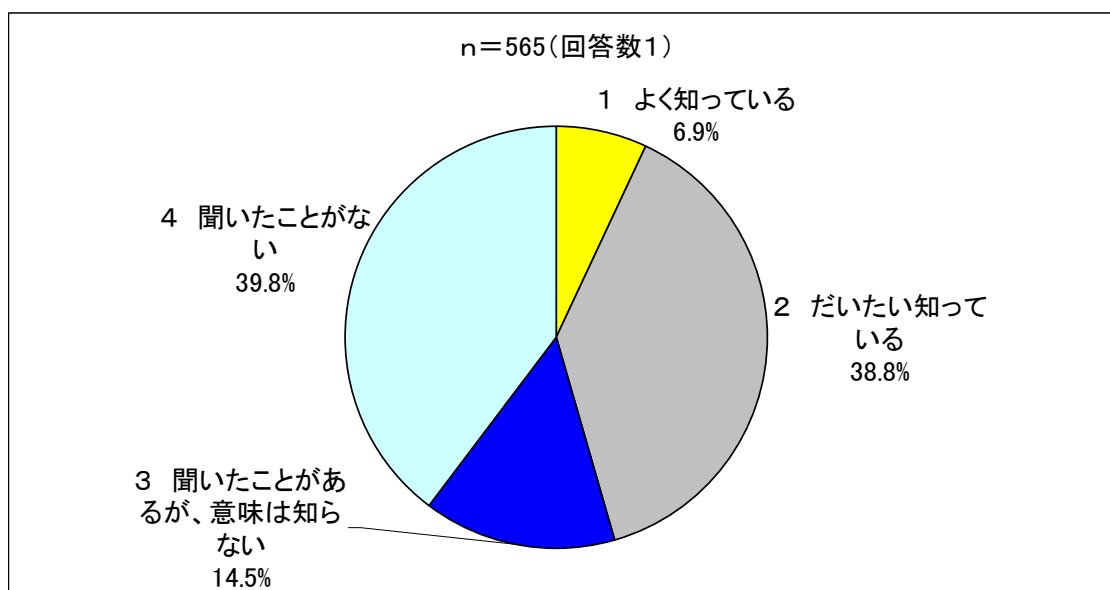
6Rとは、従来の3Rに、本県独自の新たな3つのRを加えた取り組み。

(従来の3R)

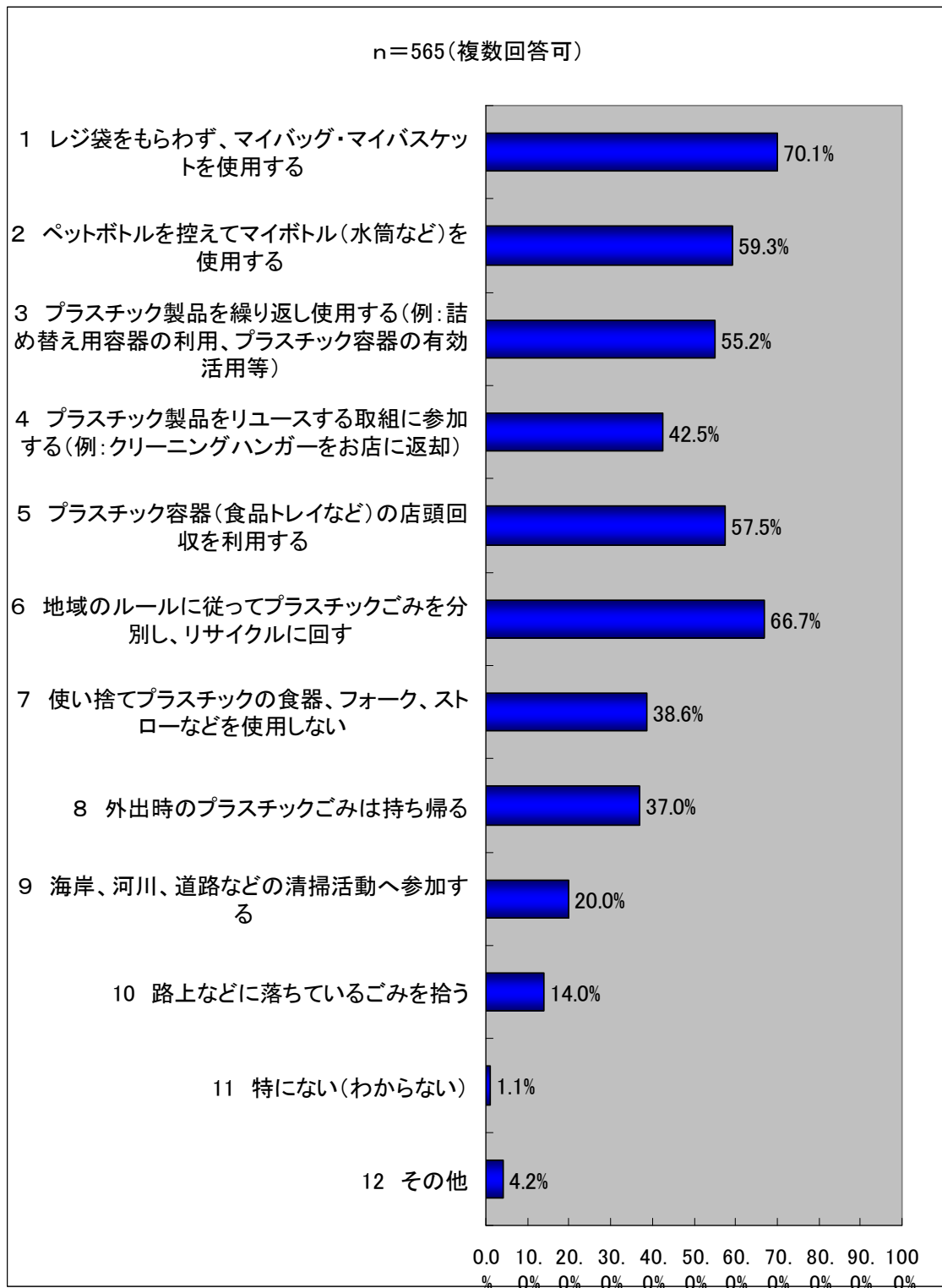
- ・Reduce (リデュース) : 減らす
- ・Reuse (リユース) : 繰り返し使う
- ・Recycle (リサイクル) : 資源として再び利用する

(新たな3R)

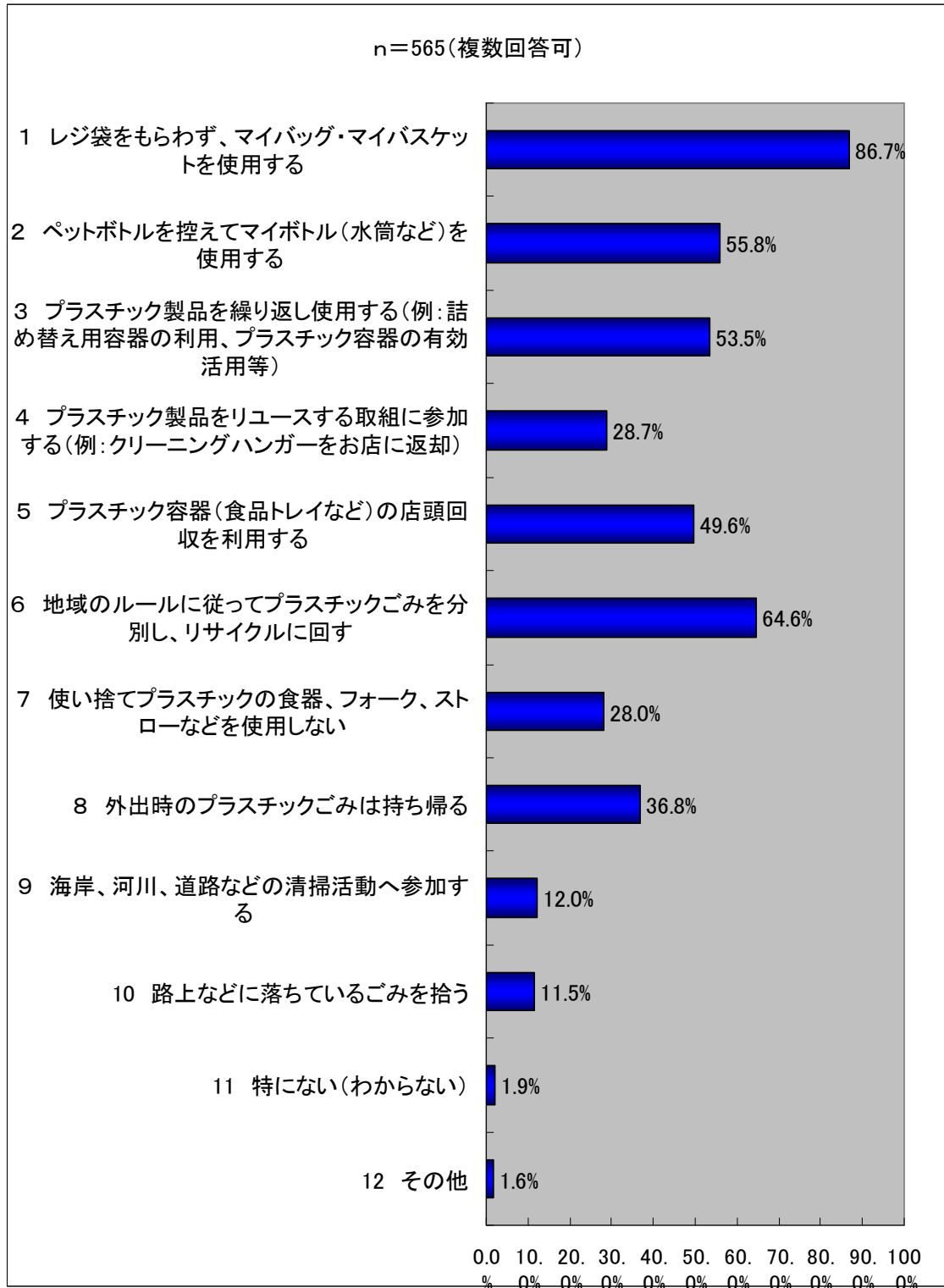
- ・Refuse (リフューズ) : 不要なレジ袋等を断る
- ・Return (リターン) : 戻す(店頭回収の利用や外出時のごみの持ち帰り)
- ・Recover (リカバー) : 回復させる(清掃活動等)



問6 海洋プラスチックごみ防止のためには、プラスチックごみの発生を抑えることと、発生したプラスチックごみが海に極力流れ出さないようにすることが必要です。そのために、あなたが大切だと思うことを次の中から選んでください。(複数回答可)

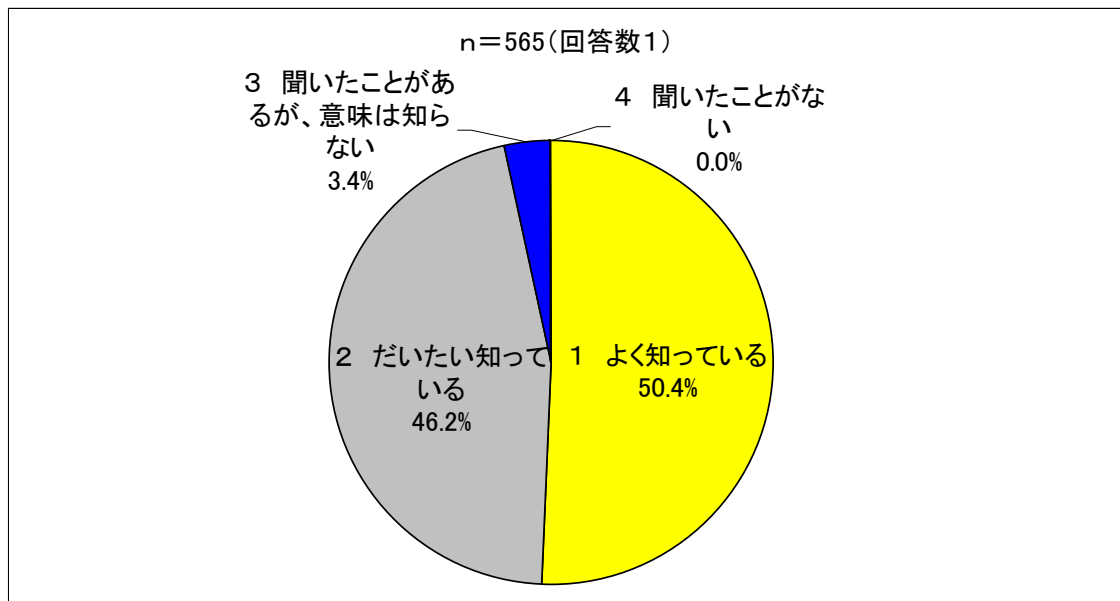


問7 海洋プラスチックごみ防止のために、あなたが実際に行っていることを次の中から選んでください。(複数回答可)



問8 あなたは、食品ロス※という言葉の意味を知っていますか。(回答数は1つ)

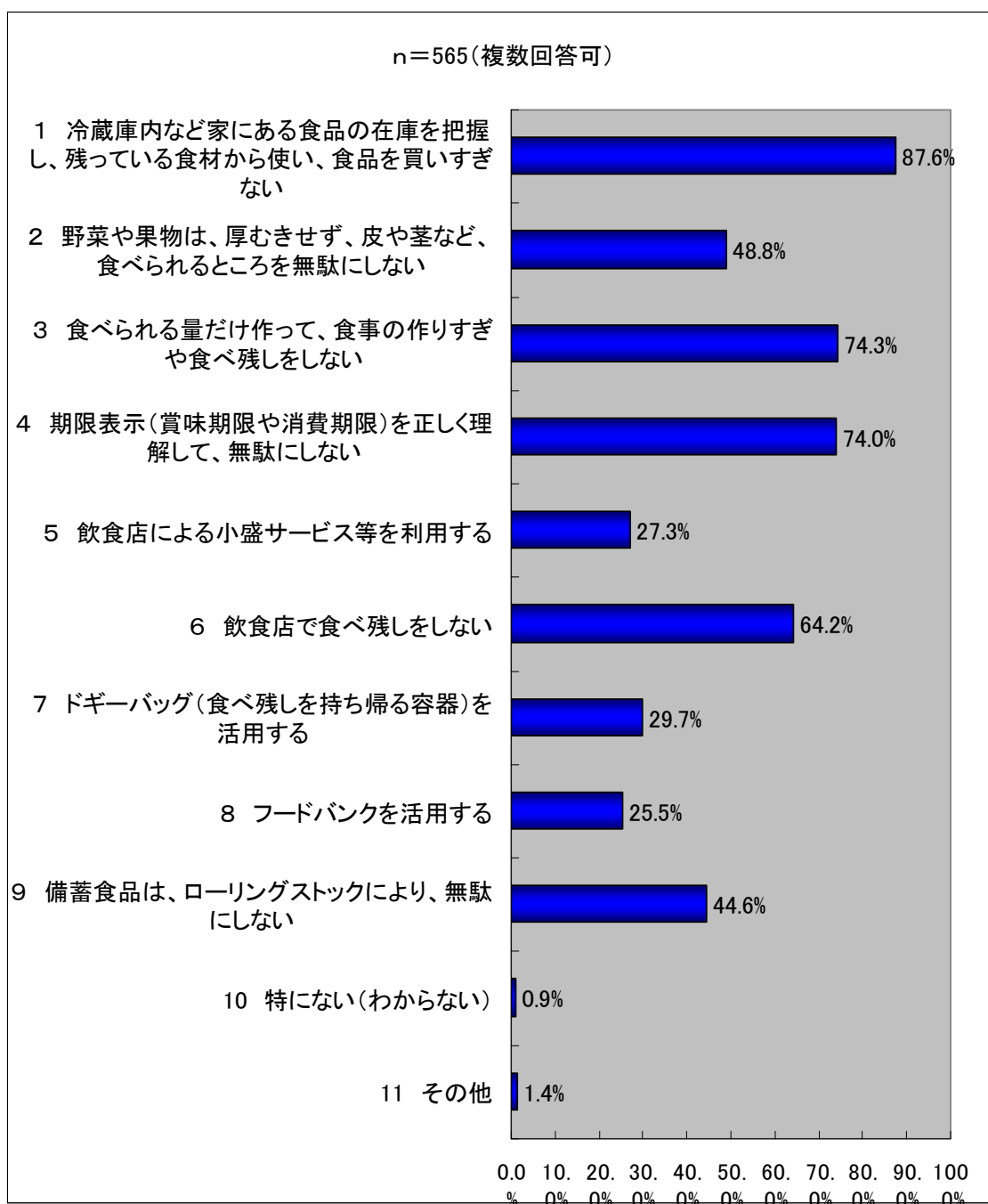
※ 食品ロス
まだ食べられるのに捨てられている食品



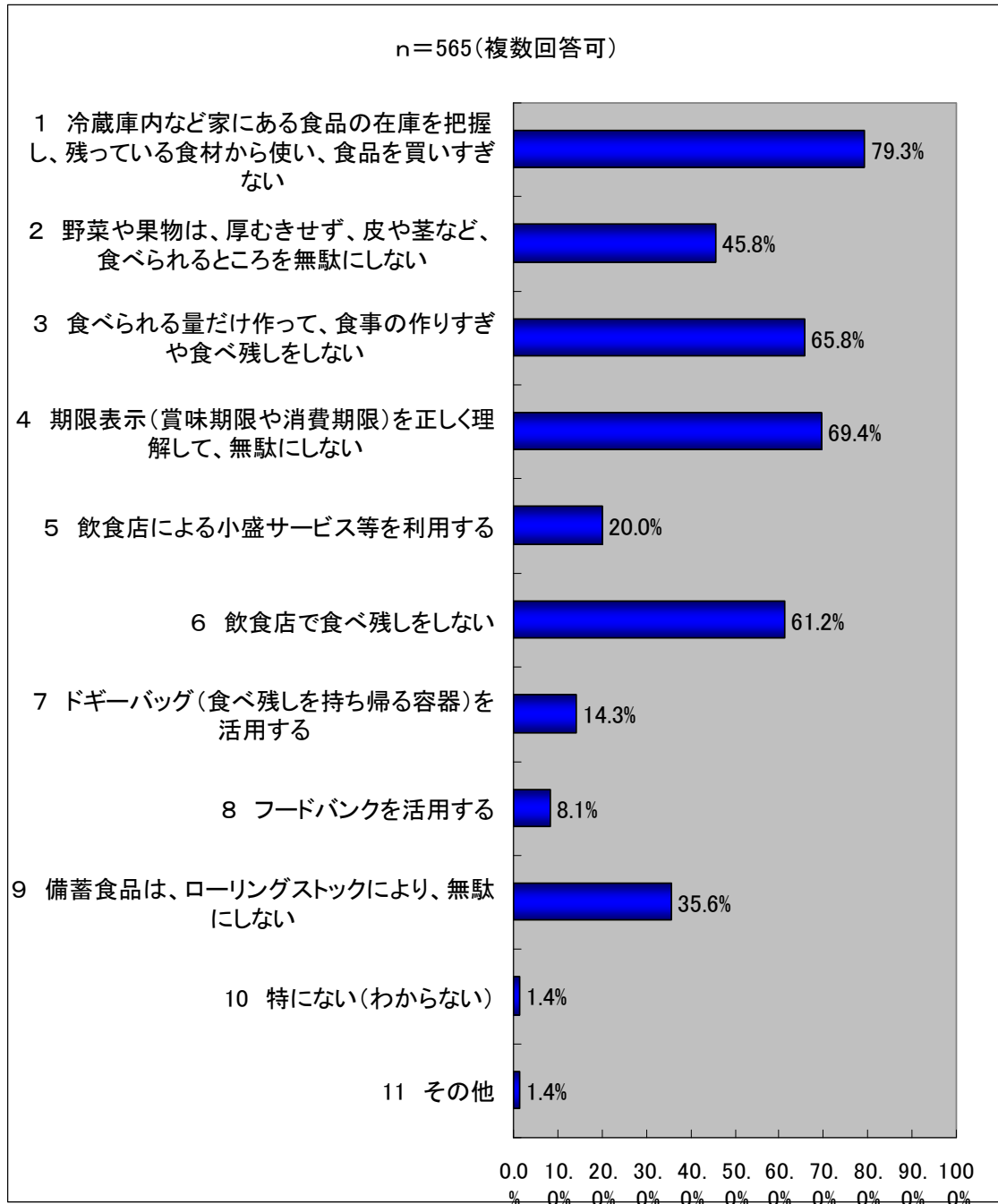
問9 食品ロスを削減するために、あなたが大切だと思うことを次の中から選んでください。(複数回答可)

※選択肢8：フードバンク…包装の印字ミスや賞味期限が近いなど、食品の品質には問題がないが、通常の販売が困難な食品・食材を、NPO等が食品メーカー等から引き取って、福祉施設等へ無償提供するボランティア活動

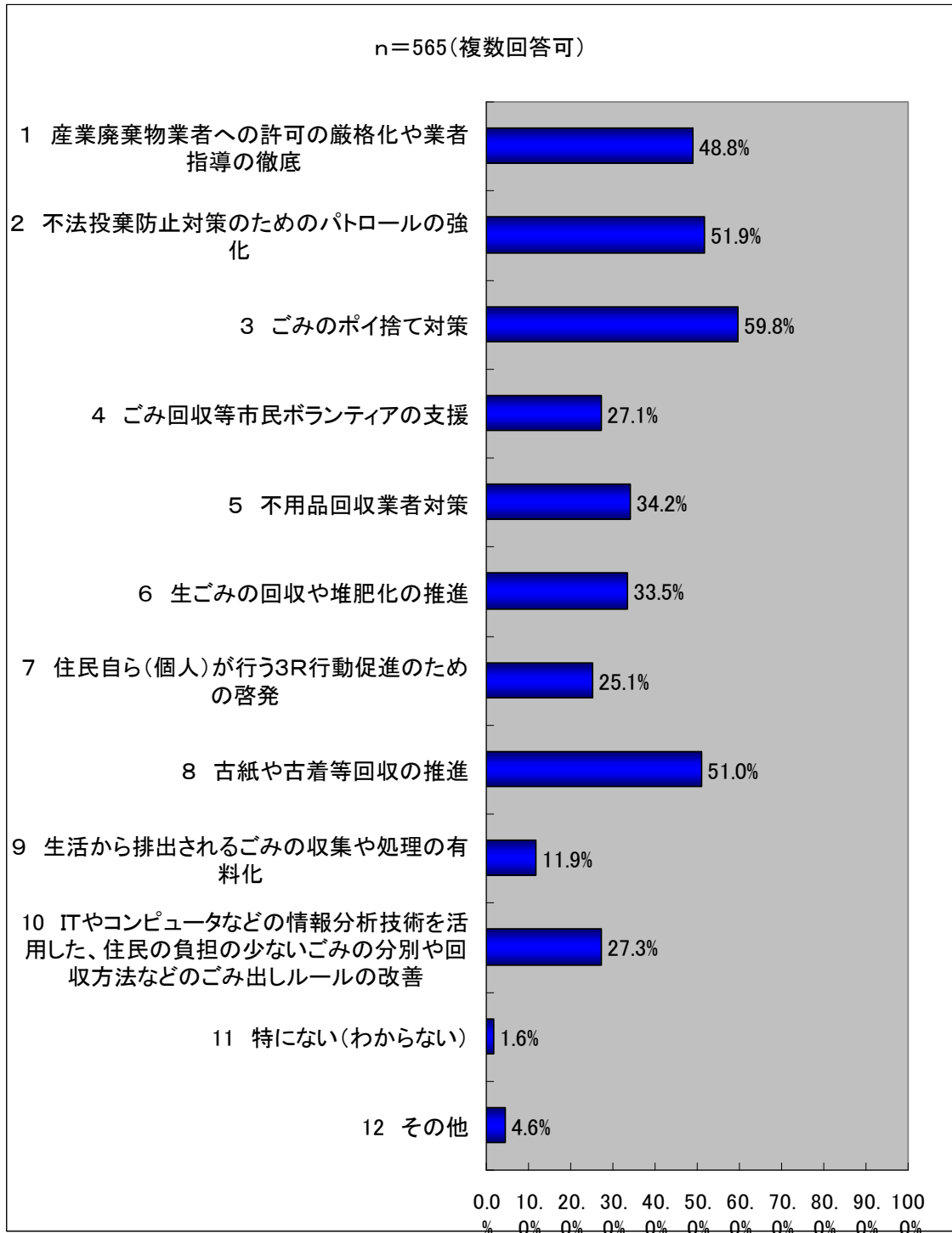
※選択肢9：ローリングストック…日常生活の中で使う食材を多めに常備して定期的に飲食し、新しいものを補充するという食品備蓄方法の一つ



問 10 「食品ロス」を削減するために、あなたが実際に行っていることを次の中から選んでください。(複数回答可)



問 11 ごみ問題の解決や3Rの推進に向けて、あなたが、特に行政に対策を求めたいことを次の中から選んでください。(複数回答可)



問 12 3Rの推進やごみ問題について御意見がありましたら、御自由にお書き
ください。(500字以内)

担当課：廃棄物リサイクル課
電 話：054-221-2426
F A X：054-221-3553
メール：hai@pref.shizuoka.lg.jp